

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月7日から12日の4日間にわたって行われ、15人の議員により、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画中継をご覧ください。

[発言順]



加藤建也

[市政刷新会議]

平成30年度からの国民健康保険制度改革の狙いは

災害時の業務継続計画を策定する考えは

問 国保の都道府県広域化の狙いは。

答 現在の市町村単位では、高齢者が中心で医療費水準が高い、低所得者の比重が高く、小規模保険者が多いということが課題。国・県から国保への財政支援を行うことで、財政基盤を強化し都道府県を財政運営の責任主体とすることで、安定的な財政運営や事業確保を行い、制度を長期的に安定化させることを目的としている。

問 広域化による国保加入者のメリットは。

答 市外に転出すると途切れていた高額療養費の多

数該当制度（1年以内に4回以上で該当）が、広域化により、県内の移動であれば、該当回数を通算されることになり、より医療費の自己負担軽減につながる。

問 二本松市に災害時の業務継続計画（BCP）を策定する考えはあるのか。

答 BCPを策定することにより、適切かつ迅速に非常時の優先業務を遂行し、住民ニーズにも応えられることなどの点から、その必要性は十分理解している。今後に備え検討していきたい。

Jアラート発令時の市の対応は

若者の政治参加を進めるための教育は

問 ミサイル攻撃等のJアラート発令時における市の対応は。

答 Jアラートが発令された場合、直ちにエリアメールにより市内全域に情報発信を行うとともに、市長を本部長とする二本松市国民保護対策本部会議を招集し対処する。8月29日も緊急に開催した。また、現在防災行政無線システム設置工事を進めており、今後、Jアラートと連動して瞬時に市民へ配信される。

問 選挙権年齢が18歳へ引き下げられたことによ



石井 馨

[あぶくま会]

り、若者の政治参加を進める上で中学校での主権者教育が必要ではないか。

答 中学校3年生の公民の授業の中で、主権者として政治参加の必要性について学習している。ほかにも、学級活動や生徒会活動で主体的に企画運営に携わる機会を設けている。総合的な学習の時間には、職場体験やボランティア活動を行う中で、意識を身につける教育を行っている。また、道徳教育の中でも主体的に社会に参加する意識付けを図っている。



小野 利美

[市政刷新会議]

問 応急仮設住宅の入居者がいなくなった場所の現状と今後の方針は。

答 全戸が退去済みの大平農村広場、建設技術学院跡は、現在、福島県発注により仮設住宅解体工事の設計中で、平成29年度内に解体撤去され、従前の状態に原形復旧の予定。杉田住民センターグラウンドは、県の計画によると、解体撤去・原形復旧は平成30年度の予定。県から市へ返却後は速やかに市民の方々に利用いただけるよう進めていきたい。

応急仮設住宅の現状と今後の方針は

児童生徒の不登校への対応は

問 不登校児童生徒への支援、現在の状況と今後の方針は。

答 学校にスクールカウンセラーや生活相談員を配置するとともに、各校の教職員が担当する教育相談員や生徒指導主事の研修等を実施している。また、9月1日に開所した「二本松市教育支援センター」に、不登校児童生徒の適応指導を行う「ふれあいスクール」を設置し、該当児童生徒の保護者に対して、就学や学校生活・家庭生活に関する相談・支援を行っていく。

保管されている除染土壌の今後は

問 除染土壌（フレコンパック）は市内にどのくらいあるのか。

答 本年6月末現在、仮置場で保管している除染土壌が約280,000袋、敷地内等で保管している除染土壌が約77,000袋、合わせて約357,000袋である。

問 中間貯蔵施設への移送計画は。

答 平成28年度に2,764袋の輸送を完了。本年度は7月から7,734袋の輸送を行っている。30年度の輸送量は20,000袋程度を見込んでいる。今



安齋 政保

[市政会]

後環境省からの正式な輸送量の提示を受けることになる。31年度以降については、中間貯蔵施設の整備状況によるが、輸送量を倍増していきたいとの環境省の考えであることから、仮置場に保管してある除染土壌の搬出については、輸送量を最大に見込んで推計した場合の終了見込は、一般住宅除染に関わる保管除染土壌は平成33年度を、その他事業所等に関わる保管除染土壌については、平成34年度の輸送完了を見込んでいる。



本多 俊昭

[真誠会]

問 杉田地区将来まちづくり構想事業においてエリア分けされていたが、エリアの現状と今後の事業の進め方は。

答 当面、市道長命1号線と市道杉田停車場線の整備を先行する。併せて西池・社前線についても整備を進める。

問 地権者や地区住民との懇談会は、今までどの程度行われていたのか。

答 平成24年度から26年度にかけて、延べ16回開催した。その他、個別訪問による意向調査や勉強

杉田駅周辺整備事業の今後の進め方は

選挙の投票率向上に向けた取り組みは

会等を実施した。平成26年の8月には、市長も出席した。

問 期日前投票所増設の考えはあるのか。また、設置するための費用はいくらかかるのか。

答 当市が設置している4箇所は、利便上大きな問題はないと考えている。他市と比べても少ない数ではなく、投票事務員の配置や立会人の手配等を考えると、当面現状のままでよいのではないかと考えている。選挙により開設日数が違ってくるので、設置費用は一概に算定できない。

スカイピア内にパークゴルフ場建設は 各住民センターへのエアコン設置は



平栗 征雄

[市政刷新会議]

- 問** 他の自治体では進んで運動広場を建設している。市民の健康増進施策としてスカイピア内にパークゴルフ場建設を進めてはどうか。
- 答** 現在市内には同様の施設が岩代地区にもあり、多くの皆様に利用いただいている。現段階では整備の計画はないが、岳温泉・安達太良高原の集客施設の一つとして検討する要素であると認識している。市全体としてのスポーツ・健康増進施設整備のゾーニングを念頭に利用者の動向、費用対効果、健康増進、ス

- 問** ポーツ振興策としての波及効果など総合的な観点から検討を行っていく。
- 問** 各住民センターの多目的ルームや2階集会室には冷房設備がなく、扇風機で過ごし、夜は窓の開け閉めができず、環境が悪い。エアコンは設置できないか。
- 答** 設置の具体的な年次計画はなく、必要に応じて個別に予算措置を行っている。他の公共施設との兼ね合いや、施設の利用状況なども考慮しながら検討していきたいと考えている。



熊田 義春

[市政会]

農繁期の人材確保、農家支援は

ハクビシン・タヌキの実態、対策は

- 問** 農作業全般で忙しい時期の人材呼びかけと、その際の働き手、農家支援として、補助金制度を確立できないか。
- 答** 地域の中に短期間の農作業従事が可能な方がいらっしゃることも想定され、人材確保のための呼びかけや、働き手、農家への支援体制の確立に向け、JA等農業団体との協議や他団体の事例等を参考にしながら、検討する。
- 問** 市ではハクビシンとタヌキの実態調査をしたことはあるのか。捕獲報償を交付する考えは。

- 答** ハクビシンによる被害は主に夏野菜の被害報告はあるが、タヌキについては農作物への被害報告は寄せられておらず、特に実態調査は行っていない。捕獲報償は、今後の被害状況、捕獲頭数の推移をふまえ、総合的に検討していく。また、特定外来生物に指定されているアメリカンミンクとアライグマは、県の防除実施計画が策定されていることから、補助金を活用し、捕獲報償（1頭あたり3,000円）を交付できるよう今定例会で補正予算を計上している。

応急仮設住宅の取扱い等、今後の計画は

本市の史跡、名所の案内看板の整備計画は



佐藤 有

[真誠会]

- 問** 大平地区等入居者がいない仮設住宅を含め市内にある応急仮設住宅は今後どうなるのか。
- 答** 大平地区の仮設住宅は、すでに解体を含め年度内に撤去の予定。現在も継続して入居されている避難者は、応急仮設住宅への集約を含め県・浪江町と協議しており、残りの施設も早期に原形復旧後返却していただき、供用開始できるよう引き続き強く働きかけていく。
- 問** 観光振興のためにも史跡・名所の案内看板にかかる全体的な整備計画はあるのか。

- 答** 合併後に統一を図るべく、県合併支援交付金を活用して整備完了している。現在、観光案内サインの整備計画は策定していないが、今後必要に応じて整備していく。
- 問** 観光ボランティアガイドの現状と連携は。
- 答** 二本松観光ボランティアガイド協会は今年で22年目を迎え、観光客を「おもてなしの心」でご案内いただいている。現在会員は21名で、養成講座等を実施し会員の増強を図り、関係団体と連携し観光振興施策を推進していきたい。